

草の根・人間の安全保障無償資金協力 「カザフ県・サムフ県救急車両整備計画」の供与式を開催

2023年7月6日、日本政府が草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みで支援した「カザフ県・サムフ県救急車両整備計画」の供与式がバクー市のTABIB本部で行われました。式典には和田純一日本国特命全権大使、ヴガル・グルバノフ医療保険庁地域医療局(TABIB)長官、サムフ県及びガザフ県の中央病院院長、被供与団体代表が参加しました。

本計画は、ピックアップトラック(三菱自動車工業社製(日本))2台を購入し救急医療用車両として改造するための資金88,996米ドル(150,404マナト)を「市民社会開発支援・西部資源公共団体」に対して供与するものです。これらの救急医療用車両はカザフ県ユハリ・サラフル村及びサムフ県ポイル村の診療所にそれぞれ配備され、カザフ県及びサムフ県北部地域における救急医療の質の向上に寄与することを目的として実施されました。

これまでアゼルバイジャンで供与された草の根無償資金協力による事業は総件数285件にのぼり、供与総額は2407万米ドル(約4068万マナト)を超えています。

草の根無償資金協力は、アゼルバイジャン国民の生活向上のために、保健、公衆衛生、教育、農業支援等の分野における、住民に直接裨益する比較的小規模な事業のために必要な資金を供与するものです。また、被供与団体として、地方公共団体、医療機関、教育機関等の非営利団体が資金協力を要請することができる事業であり、在アゼルバイジャン日本国大使館に対し申請をすることが出来ます。

